



四日市市立内部中学校 第 41 号

卒業式を終えて

3月7日(月)に、第37回卒業式を挙行いたしました。とても良い式となりました。

本来であれば、本校の教育活動にご協力いただいた地域の皆様方もお招きして、卒業生の立派な姿を見ていただくところですが、今年度は新型コロナウイルス感染症のためお招きすることができませんでした。地域の皆様には、登下校時の見守りや声かけに至るまで、本校の生徒たちを温かく見守り、様々な場面で支えていただきました。心より感謝しております。本当にありがとうございました。



卒業証書授与が整然と行われた後、校長からの式辞や、市長・教育委員会からの告示、PTA会長からの記念品贈呈があり、その後、生徒会長の稲垣みなみさんが送辞の中で、卒業生への憧れや感謝の気持ちを述べました。通常であれば在校生は2年生の生徒全員が参列しますが、密を避けるために、生徒会執行部の7名だけに参列してもらいました。可能であるならば、卒業生の立派な姿を、すべての在校生に見せてあげたかったです。合唱を聴かせてあげたかったです。

式辞の中では、卒業生の良さである「素直さ」に触れるとともに、本校の学校づくりビジョンの『めざす生徒の姿』にある、「目標や志をもち、努力する生徒」「お互いを大切にする生徒」「最後まで取り組む生徒」を、「目標や志をもち、努力する人」「お互いを大切にする人」「最後まで取り組む人」に置き換えて、それらを大切にしながら今後の人生を歩んで欲しいと激励しました。

答辞は、卒業生を代表して丸尾明日香さんが述べてくれました。これまでお世話になった様々な方々への感謝の気持ち、仲間との思い出や大切さ、様々な行事を経て成長したこと、先生方へのお礼、保護者へのお礼、未来への希望、今後の決意等を、心を込めて伝えてくれました。



式の終わりに卒業生が、式歌である『今も僕は』を合唱する予定でしたが、新たな感染症対策のため実施することができませんでした。本当に残念です。卒業生も感謝の気持ちを込めて歌いたかったことでしょう。退場の際に録音を流しました。

卒業生がこれからの人生を、「確かに生きていける」と確信することのできる、卒業式となりました。ご卒業おめでとうございます。

志授業

3月2日(水)の4限目に、本校の元校長でいらっしゃる佐藤正倫先生(現、教育アドバイザー)を講師としてお招きし、2年生を対象に『志授業』を行いました。有名な研究者やスポーツ選手、内部中学校に関わりのある方々の生き方に触れながら、「夢」と「志」のちがいや、「行動すること」「感謝すること」の大切さなどについてお話いただきました。



授業後の感想には、「自分だけの力では夢を叶えることはできないから、周りの人にしっかり感謝して日々成長していきたい」「夢とは人生での目標ややりたいことだと思っていたけど、いつ叶えても何個夢があっても、どれだけチャレンジしてもよいのだと思えた」「これから色々やりたいことがでてくると思うけれど、行動に移すことや目標を忘れないようにして過ごしていきたい」等、お話をしっかりと受け止めて、自分事として考えている内容が多くありました。

授業の最後には、「いま、自分がすべきことはなんだろう?」「自分のやりたいことや得意なことを見つけましょう!・自分ができることから実践してみましよう!」「**あなたの人生の主演はあなた自身です!**」といった、メッセージをいただきました。今後の生活に活かしたいです。

高校体験授業

3月3日(木)の午後、7つの高校の先生を講師としてお招きし、2年生を対象に『高校体験授業』を行いました。(1校はリモートで実施)

職業について自分の好きなものに関係する企業から考えてみたり、竹筒に苔や草を植え付け小さな庭をつくったり、赤ちゃんと同じ重さの人形を抱いたり、メンタルトレーニングについて学んだり、各学校の特色について詳しく教えていただいたりと、盛りだくさんの内容でした。生徒たちはその中から2講座を選択し、熱心にお話を聞いたり、生き生きと体験したりしていました。授業を受けたことで各校の様子が変わり、進学先を考える際の参考になったことと思います。参加していただいた高校は以下の通りです。



・四日市工業 ・四日市商業 ・四日市農芸 ・四日市四郷 ・鈴鹿 ・大橋学園 ・海星

